

日本が午後3時のを迎える頃、遠くアフリカの地でひっそりと開くマーケット。今日は、マーケットといっても、アフリカの証券市場のお話をしたいと思います。戦争、貧困問題、難民問題、エイズ等々の報道に事欠かない先進国から見るアフリカの様子は、人々の暮らしもままらないのではないかと想像するのに十分です。しかし、アフリカ大陸に広がる17の証券市場の毎日の値動きを追ってみると、確かに経済活動は行われており、人々は生活をしているのだという息づかいが感じられます。証券市場を有する国々は、コートジボワール、ボツワナ、エジプト、モロッコ、タンザニア、ガーナ、南アフリカ、ウガンダ、ザンビア、マラウイ、モザンビーク、ケニア、ナミビア、ナイジェリア、モーリシャス、スウェジランド、ジンバブウェであり、イギリスの旧植民地の国々に多いのが特徴です。

ただ、東京、ロンドン、ニューヨーク、香港等の先進国にある証券市場の情報が瞬時にインターネット等を通じて知ることが出来るのに対して、アフリカにある証券市場の情報は私のような一般の人にとってすぐには手にいれることが出来ないのが現状です。そのほとんどがホームページなどを持っていますが、タイミングや速度の遅さもあります。故障していることもあります。こんなにも情報が瞬時に取れる時代であっても、アフリカの市場にまだまだ距離を感じてしまう要因です。もちろん日本の新聞・テレビには載らないし、熱心に探さなければ見つからない情報です。とはいえインターネットのおかげで、一日の取引の様子や、値動き、売買高、市場担当者のレポートや過去数年分の情報等知ること出来るし、質問があれば各証券市場にメールを出して、返事をもらうことも出来るのです。

今日はケニアのナイロビ証券市場を紹介したいと思います。イギリスの植民地であったころ



丸い円筒の建物がネーションメディアセンター

の1920年代からその原型があり、その後1960年代にケニアが独立を果たすまでの間一部の人の手で運営されていたようです。独立後1980年代に、国営企業の民営化を目指す中、民間企業が果たす経済発展の役割が認識されるにつれ、証券市場も政府の力によって整備されていきました。最初の民営化企業は、1988年のケニア商業銀行で、政府が20%の株式を公開しました。また1996年にはケニア航空の民営化に成功し、11万株を公開し、その年の世界銀行から民営化の成功例として表彰も受けています。そして現在にいたるまで、法整備、投資環境整備等が政府の主導で行われています。

ナイロビ証券市場には、電気、ガス、水道、通信、交通等のインフラストラクチャー関連、農産物関連、外資系（日用品、食料品、セメント等）の53銘柄があります。先進国の市場に比べると取り扱い銘柄は多いとはいえませんが、確かに経済が営まれているという事実を知るには十分な数字

であると思います。

ナイロビ証券市場を見学した時の様子を紹介したいと思います。ケニアの政府系新聞「NATION」はケニアで最も読まれている新聞ですが、その新聞社も入っているネーションメディアセンターというのが、ナイロビの目抜き通りにそびえていて、そのタワーの一角がナイロビ証券市場です。一階の受付で訪問理由を述べ、ネームカードを付けて、荷物チェックを受け、空港にあるような金属探知機のゲートを通して入場となる。そこで、働く人達の服装は、真っ赤なジャケットと、黒いズボンかスカートで、すごく派手な格好です。声を荒げて、がやがやとした場内である。活気があるが、テレビでよく見るニューヨークの証券市場のように、たくさんの人々でごった返し、せわしなく人々が動いているという様子ではなかった。取り扱い銘柄がそんなに多くないということもあるだろうが、どこことなくのんびりとした感じがした。もともと何かに急かされて、急いでやるのは好きではない国民性がでているのであろうか。

値動きを暫く追ってみると、その動きが非常に大きいというのも特徴だと思う。日本のマザーズやヘラクレスといった新興の企業の市場のような動きである。そして右肩上がりの銘柄が多い。売買高は、先進国のように大きくはない。そもそも参加している人の数が圧倒的に少ない。ケニア国

内で、一日一ドル以下で生活する人々も多く、貧困層が大多数の国である。アフリカ最大というキベラスラムも車で20分ほどの目と鼻の先である。結果、ナイロビ証券市場のお客はケニアの政治家、企業家、資産家、外国人投資家に限られているであろう。投資する側からいえば、まだまだアフリカの市場は安定しているのかどうか疑問であるし、インフラストラクチャーの遅れ、リスクという点で安定した投資先というわけではないだろう。

しかしほとんどがそれぞれの分野で独占企業という立場であり、価格やサービスで競争していくという状況になるに時間がまだかかると思われる。また国営企業の民営化の動きもさらに進んでおり、注目こそされることは少ないが、いい投資先ではないかというのが私の印象である。先ごろ、ケニア電力が民営化された。私も始めて公開買い付けに参加した。一株12ケニアシリング。3085株を日本円にして5万8615円で買った。そして数ヶ月後の現在、一株32ケニアシリングになっている。

アフリカには、まだ多くの証券市場がある。知られてない市場がある。途上国企業、特にアフリカ出身の企業家も増えてきている。そういう企業を私は応援していきたいという気持ちで投資していきたいと思う。あまり痛い目には会いたくない程度に。